

2010年6月吉日

(社)日本青年会議所 ブロック協議会  
ブロック会長各位

(社)日本青年会議所 副会頭 長谷川浩一郎  
国民意識確立グループ担当常任理事 富永太郎  
人間力大賞運営委員会 委員長 友田雅明

### 人間力大賞ジュニア版エントリーのお願い

拝啓 新緑の候 47ブロック会長様の皆様におかれましては、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。皆様に於かれましては、日頃より人間力大賞事業にご賛同いただくと共に、ご支援・ご協力を賜り誠にありがとうございます。

皆様のご協力を持ちまして、人間力大賞のエントリーを無事終了させていただきました。18日にはいよいよ皆様のご協力をいただきまして、一次選考会を執り行わせていただきます。何卒、宜しく願い申し上げます。

さて、本日は、先般よりブロック会長会議などでPRご説明を申し上げております人間力大賞ジュニア版につきまして、改めて下記のとおりご案内を申し上げます。皆様のご協力を何卒よろしくお願い申し上げます。

敬具

#### 記

##### 1. 事業の趣旨につきまして(ご確認)

我々(社)日本青年会議所が24年に渡り伝承してきた人間力大賞では、様々な分野で積極果敢な活動・挑戦を続けている人間力あふれる若者を発掘してきました。彼らに共通しているのは、地域や社会に対する“思い”と自らの具体的な“行動”です。そこに共感が生まれ、人が集まり、新しい大きな流れができあがるのです。この事業を通じて、次世代を担う更に若い人材の育成に取り組むというのが「人間力大賞 U18」です。

地域コミュニティや社会、日本、更には世界の現状と行方に強い関心を持ち、課題解決や未来の実現に向けて、小さくとも一歩を踏み出し、自ら行動している高校生(中学生も可)を、次世代リーダー像のロールモデルとして社会に広く提示し、日本の現状に閉塞感を感じているU18世代の若者はもちろん、我々大人世代をも啓発することを狙っています。

人間力大賞「U18 奨励賞」に向けて、そのノミネート候補者の全員が、U18 リーダーズ・キャンプ(共催団体NPO 法人アイ・エス・エルが企画・運営)に参加し、相互触発をして更に一段大きな成長を遂げるとともに、その中から1~3名が「U18 奨励賞」受賞候補者として選ばれます。

なお、今回のジュニア版の取り組みにおいては、ロールモデルを「U18 奨励賞」として表彰し発信することだけでなく、未来のリーダー候補が一堂に会し、互いに刺激しあい、今後の成長への糧となること、つまり人材育成にも大きな力点を置いています。従い、「U18 奨励賞」にノミネートしたいという観点のみならず、「自らが刺激を受け、成長する場だから、ぜひキャンプに参加してみないか」という観点から、参加をお呼びかけください。

## 2. 発掘の対象となる高校生(中学生も可)につきまして

今回発掘の対象としているのは、次世代リーダー像のロールモデルとなり得る高校生(中学生も可)です。そのため、次の5つの要件を満たすことを条件としています。

- ① 20歳未満の将来性溢れる高校生(中学生も可)。高専、インターナショナルスクールの在生学生も含まれます。性別、国籍は問いません(プログラムでの議論に参加できるだけの日本語能力は必要)。ただし、大学生は対象外となります。
- ② 自らの意思で、小さいながらも具体的な行動(アクション)を主体となって起こし、その姿が周囲の応援・共感を呼んでいる人(単なる学業優秀者ではなく、身近な地域コミュニティや社会、あるいは日本、世界のありように強い関心を持ち、課題解決や未来の実現に率先垂範で挑戦している志あふれる人)

※この項目について、具体的にイメージいただけるように、想定しております参加者のプロフィールを作成しました。別紙をご覧ください。

- ③ (社)日本青年会議所主催の人間力大賞「U18 奨励賞」候補者としてノミネートされることに同意いただける人
- ④ 8月7日から12日の東京でのキャンプ「U18 リーダーズ・キャンプ」に全日程参加いただけ、参加にあたっての保護者の同意が得られる人。キャンプ参加において、法律(未成年者の喫煙、飲酒禁止)やキャンプのルール(共同生活における時間厳守や他者の尊重)の順守に同意いただける人

## 3. 選考プロセスにつきまして

### Step1. 発掘

想定している参加者プロフィールを参考に、各地域で発掘をお願いします。原則として、各都道府県の学校に在学する学生を対象としてください。

### Step2. 各都道府県の代表者の選出

47ブロック会長様により、1名の代表者を推薦いただきます。LOMからの推薦や応募が複数あった場合には、前述のプロジェクトの趣旨および参加対象者を踏まえ、ブロック会長様の判断により、代表者1名を決めてください。

キャンプに参加する各都道府県代表者1名には、6月30日(木)までに、別添お送りします「U18 リーダーズ・キャンプ参加申込書」一式を U18 リーダーズ・キャンプ事務局(NPO 法人アイ・エス・エル)に送付いただきます。

※(メールにて写真添付の上、データをお送りくださいますようお願いいたします。 E-mail: [U18@isl.gr.jp](mailto:U18@isl.gr.jp))

※キャンプのWebサイト上では、全国公募枠(若干名)の募集を行っておりますが、初年度につきましては、限定的なものと考えております。Webサイトで応募があった場合には、対象の各都道府県47ブロック会長様にご連絡をさせていただきますので、他の応募と併せてご検討いただけましたら幸いに存じます。

### Step3. U18 リーダーズ・キャンプ開催

日時: 8月7日(土)午後~12日(木)正午

場所: ISL クラスルーム(東京都千代田区紀尾井町)

宿泊は、クラスルームから徒歩圏内のホテル(一部屋3~6名の部屋)を予定。

※ その他詳細につきましては、ウェブサイトをご覧ください。(URL: <http://u18.isl.gr.jp>)

#### 4. お問い合わせ先

(社)日本青年会議所 人間力大賞運営委員会

人間力大賞ジュニア版エントリー担当:副委員長 伊藤文洋 連絡先 090-8925-8302

委員長 友田雅明 連絡先 090-4529-5260

U18 リーダーズ・キャンプ事務局(NPO 法人アイ・エス・エル)(午前9時半～午後6時半)

担当:相木麻子(あいき・あさこ)／柘植真由子(つげ・まゆこ)

連絡先 … 電話:03-5226-6800 / E-mail:[U18@isl.gr.jp](mailto:U18@isl.gr.jp)

以上

## 想定している参加者のプロフィール

皆さんに発掘いただくのは、次世代リーダー像のロールモデルとなり得る「人間力大賞U18奨励賞」の受賞者候補者です。

高校生を中心とするU18世代に、「人間力」をそのまま期待することには、少し無理があります。従い、ジュニア版の実施にあたっては、将来、人間力を備えたリーダーへと成長するであろうポテンシャル(潜在性)に注目をし、人材を発掘いただければと思います。

ここでポテンシャル溢れる人材と考えるのは、次の二つの要素を満たす、自らの高い問題意識に裏付けられ、主体的な行動をおこなっている若者です。

### ●高い問題意識

地域コミュニティや社会、日本、更には世界の現状と行方に強い関心、問題意識を持っていること

### ●主体的な行動

その関心や問題意識に対して、自らの意思で、小さくとも具体的な行動を主体的に起こしており、その姿が周囲の共感や応援を生んでいること(一人の参加者として行動している人ではなく、その活動の中心的な役割を担っていること、活動の先頭に立っていること)

「この若者の問題意識と行動力はすごい、是非応援したいし、ロールモデルとしても全国に紹介したい」という、未来のリーダー候補を、是非、皆様のブロックからキャンプへと送り出していただきたく存じます。

より具体的なイメージをもっていただくために、以下では、上記の要件を満たした高校生が実際に行った行動(活動)事例で、新聞・テレビなどメディアに取り上げられた事例をご参考として紹介します。

- ◇ 世界の学校に行けない子供たちのために、周囲の人々に呼びかけて、文房具や古本などを集めて送る活動
- ◇ お金のない学生でも高校に通うことができるための募金活動
- ◇ 誰にも知られずに死んでいく人がいること(孤独死の存在)を知り、仲間と共に、近所の一人暮らしの高齢者の家を回る活動
- ◇ 外の世界から隔離された病棟ではボランティアの人の存在が唯一の外とのかかわりであるという問題意識から、小児科病棟で入院中または治療中の子供たちに、人形劇を見せたり、仲間と歌を歌ったりする活動
- ◇ 駅を中心とした人と人とのコミュニティ創出を目的として、地域の人たちにも協力してもらい、駅前での野菜や果物の販売、スタンプラリーなどを行なう活動(ここから、駅前ウッドデッキ交流広場の建設が決定した)
- ◇ 「性の乱れた現状を改善しよう」と行動を開始し、母校や近隣の高校の生徒や保護者にアンケートを取り、保健所や産婦人科を訪ねて情報を得て、「性について考えよう通信」の発行や、「性に関する講習会」を開催

- ◇ 戦争や核兵器がない平和な世界を実現させるために、全国の高校生の署名を集めて国連本部に提出(高校生一万人署名運動)
- ◇ イラク帰還兵の講演会を開催したり、広島原爆の写真展をひらいたりするなど、平和活動に取り組んでいる。路上生活をする子供たちの支援プロジェクトを立ち上げ、チャリティーカレンダーを作成・販売を行い、その売り上げで子供たちを支援
- ◇ 小学生から大学生・社会人など様々な年齢層の方に対して環境活動の重要性を訴えるために、大人を呼んでシンポジウムを開催したり、自分たちの活動を発表したりする高校生環境会議を主催
- ◇ 地域で、環境問題に関心を持ち、地域のごみ分別を呼びかけるイベントを実施
- ◇ ボランティア活動が高校生により身近になるように校内にボランティアセンターを開設
- ◇ 高校生が政治に関心を持てるように、フリーペーパーを作成
- ◇ 高校生が現実にある問題への意識を高めその問題に向かってアクションする場やきっかけを創ることを目的とし、その手段として新聞を作成したり、ウェブサイト上での情報発信をしたり、イベントを開催

こうした活動の枠組みとしては、基本的には、学校の外での、地域コミュニティや社会のなかでの、自らの意思に基づく活動を想定しています。学校の中であっても、生徒会や委員会といった既存の枠組みではなく、新たな組織を自らの手で立ち上げて活動する等のバイタリティを発揮しての活動、もしくは、既存の枠組みを基盤としてはいても、自分なりの問題意識に基づき主体的に工夫を重ね変化を生みだしている活動であれば対象となります。これに対し、すでに一般的な活動となっている学校内の取り組み(エコキャップやアルミ缶の回収、赤い羽根募金活動など)に、深い問題意識や創意工夫といった努力なく、一員として参加しているだけでは不十分です。

以上